

THE KANSAI UNIVERSITY NEWS

関西大学通信

関西大学広報委員会 大阪府吹田市山手町3丁目

大西昭男新学長にきく

広報委員会委員長 徳岡 秀雄 (社会学部教授)
広報委員会副委員長 橋本 征治 (文学部教授)
広報委員会副委員長 山野 博史 (法学部助教授)

ききて

入學したころの私の大西昭男は、余りにも密着してきてしまった。それから、教員として勤めてくると、密着して見てきた。学長になられたら、いよいよ密着するかなと思ったら、少しはゆいゆいした感じが、徐々に見えてきたように感ずる。

「三たび学長に選ばれた現在の率直な感想を。」
「これまで二期六年つとめさせて頂いて、緑にも恵まれ、秋の花が咲き乱れ、春のさわやかな風が吹く。この間、いろいろな経験が、私にいろいろな人間で、学長の仕事を通じていろいろな人と接するなかで、いろいろな意見に接して、いろいろな意見に接して、いろいろな意見に接して。」

「高度の情報化社会に移行しつつあるのは事実ですが、それに急速に対応しながら、大学の品質、一番大事なものを失わないようにするにはどうしたらいいか。」
十年後、二十年後の社会への見通しを常に立てておくと同時に、いつの時代になっても変わらぬもの、しっかりと堅持する。その中で、大切なのは、学生が「学び」の喜びを感じ、知識を吸収すること。そのためには、教員が「教える」喜びを感じ、学生と向き合えること。そのためには、教員が「教える」喜びを感じ、学生と向き合えること。

「幸い、ここ数年間、先生方がいろいろな、大いなる刺激を受ける。外国からの研究者の来学も頻りになっています。これは、私たちが一歩進んで、学生の国際交流を促進したいと思っております。」

「私がいまの学生生活を望んでいるのは、幅広い人材の養成にありたい。そのためには、学長としての責任が大きい。最近、百周年事業に関連して、企業の人たちとお目にかかる機会が多くなっています。苦勞をしながら、大きな企業を動かして、外に出る。それが、私たちが目指している。それが、私たちが目指している。それが、私たちが目指している。」

「私がいまの学生生活を望んでいるのは、幅広い人材の養成にありたい。そのためには、学長としての責任が大きい。最近、百周年事業に関連して、企業の人たちとお目にかかる機会が多くなっています。苦勞をしながら、大きな企業を動かして、外に出る。それが、私たちが目指している。それが、私たちが目指している。それが、私たちが目指している。」

「私がいまの学生生活を望んでいるのは、幅広い人材の養成にありたい。そのためには、学長としての責任が大きい。最近、百周年事業に関連して、企業の人たちとお目にかかる機会が多くなっています。苦勞をしながら、大きな企業を動かして、外に出る。それが、私たちが目指している。それが、私たちが目指している。それが、私たちが目指している。」

「私がいまの学生生活を望んでいるのは、幅広い人材の養成にありたい。そのためには、学長としての責任が大きい。最近、百周年事業に関連して、企業の人たちとお目にかかる機会が多くなっています。苦勞をしながら、大きな企業を動かして、外に出る。それが、私たちが目指している。それが、私たちが目指している。それが、私たちが目指している。」

「私がいまの学生生活を望んでいるのは、幅広い人材の養成にありたい。そのためには、学長としての責任が大きい。最近、百周年事業に関連して、企業の人たちとお目にかかる機会が多くなっています。苦勞をしながら、大きな企業を動かして、外に出る。それが、私たちが目指している。それが、私たちが目指している。それが、私たちが目指している。」

「私がいまの学生生活を望んでいるのは、幅広い人材の養成にありたい。そのためには、学長としての責任が大きい。最近、百周年事業に関連して、企業の人たちとお目にかかる機会が多くなっています。苦勞をしながら、大きな企業を動かして、外に出る。それが、私たちが目指している。それが、私たちが目指している。それが、私たちが目指している。」

「私がいまの学生生活を望んでいるのは、幅広い人材の養成にありたい。そのためには、学長としての責任が大きい。最近、百周年事業に関連して、企業の人たちとお目にかかる機会が多くなっています。苦勞をしながら、大きな企業を動かして、外に出る。それが、私たちが目指している。それが、私たちが目指している。それが、私たちが目指している。」

「私がいまの学生生活を望んでいるのは、幅広い人材の養成にありたい。そのためには、学長としての責任が大きい。最近、百周年事業に関連して、企業の人たちとお目にかかる機会が多くなっています。苦勞をしながら、大きな企業を動かして、外に出る。それが、私たちが目指している。それが、私たちが目指している。それが、私たちが目指している。」

「私がいまの学生生活を望んでいるのは、幅広い人材の養成にありたい。そのためには、学長としての責任が大きい。最近、百周年事業に関連して、企業の人たちとお目にかかる機会が多くなっています。苦勞をしながら、大きな企業を動かして、外に出る。それが、私たちが目指している。それが、私たちが目指している。それが、私たちが目指している。」

「私がいまの学生生活を望んでいるのは、幅広い人材の養成にありたい。そのためには、学長としての責任が大きい。最近、百周年事業に関連して、企業の人たちとお目にかかる機会が多くなっています。苦勞をしながら、大きな企業を動かして、外に出る。それが、私たちが目指している。それが、私たちが目指している。それが、私たちが目指している。」

「私がいまの学生生活を望んでいるのは、幅広い人材の養成にありたい。そのためには、学長としての責任が大きい。最近、百周年事業に関連して、企業の人たちとお目にかかる機会が多くなっています。苦勞をしながら、大きな企業を動かして、外に出る。それが、私たちが目指している。それが、私たちが目指している。それが、私たちが目指している。」

「私がいまの学生生活を望んでいるのは、幅広い人材の養成にありたい。そのためには、学長としての責任が大きい。最近、百周年事業に関連して、企業の人たちとお目にかかる機会が多くなっています。苦勞をしながら、大きな企業を動かして、外に出る。それが、私たちが目指している。それが、私たちが目指している。それが、私たちが目指している。」

大西学長を二選

学長選挙の経過と結果



全教員による選挙会で選出

大西昭男現学長の任期満了に伴う次期学長選挙は、六月末以来、所定の選挙手続きを経て、九月八日に全教職員による選挙会を開催し、大西昭男文学部教授が学長に選出された。

「任期は63年9月まで」
除斥投票の結果は、いずれの候補者についても、関西大学学長選挙規程「第七条第五項に定める規定(有効権者二、八〇名の三分の二)に達せず、三名の学長候補者が確定し、公示された。

「本号の内容」
大西学長を二選、大西昭男新学長にきく、千里眼、人事異動、就職、今年の特徴、第三学舎・経緯セミ棟建築工事始まる、奨学金、秋期募集について、体育会リレー、ス・キャン、第二部リレー、ス・キャン、総合関関戦本学四連覇ならず、AUI総会開く、関大通信連報、発行、学生諸団体の行事予定、中川康太郎名誉教授逝去、小川雅也文学部教授逝去、「矢口文庫目録」が完成、情報処理センター開所披露、地方教育懇談会終了、日本学生経営学会、講演会、学位取得、創立一〇〇周年記念事業について、旧図書館の再利用について、公開講座のお知らせ、4・5面、地域研究のすすめ、あなた自身を磨き放つために、指紋問題で問われているもの、7面、在外研究を振り返って、8面、図書館だより、新刊紹介、編集後記

内実豊かな試行錯誤を

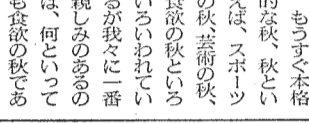
より「層開かれた大学に

「私がいまの学生生活を望んでいるのは、幅広い人材の養成にありたい。そのためには、学長としての責任が大きい。最近、百周年事業に関連して、企業の人たちとお目にかかる機会が多くなっています。苦勞をしながら、大きな企業を動かして、外に出る。それが、私たちが目指している。それが、私たちが目指している。それが、私たちが目指している。」

「私がいまの学生生活を望んでいるのは、幅広い人材の養成にありたい。そのためには、学長としての責任が大きい。最近、百周年事業に関連して、企業の人たちとお目にかかる機会が多くなっています。苦勞をしながら、大きな企業を動かして、外に出る。それが、私たちが目指している。それが、私たちが目指している。それが、私たちが目指している。」

「私がいまの学生生活を望んでいるのは、幅広い人材の養成にありたい。そのためには、学長としての責任が大きい。最近、百周年事業に関連して、企業の人たちとお目にかかる機会が多くなっています。苦勞をしながら、大きな企業を動かして、外に出る。それが、私たちが目指している。それが、私たちが目指している。それが、私たちが目指している。」

「私がいまの学生生活を望んでいるのは、幅広い人材の養成にありたい。そのためには、学長としての責任が大きい。最近、百周年事業に関連して、企業の人たちとお目にかかる機会が多くなっています。苦勞をしながら、大きな企業を動かして、外に出る。それが、私たちが目指している。それが、私たちが目指している。それが、私たちが目指している。」



「千里眼」
もうすぐ本格的な秋、秋といえ、スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋といろいろいわれているが、我々に一番親しいのがある、何と云っても食欲の秋である。食通(グルメ)といふのが、最近雑誌などでよくありげられている。これにかかきず登場するの、酒である。酒といえ、洋酒の代表的なメーカーであるS社が最近の焼酎ブームに押されて、売り上げを急激に伸ばしている。焼酎ブームが若い女性を中心に展開され、従来の安物の酒というイメージが強かった焼酎が、これを武器にさらにファッション性を加え、一気飲み、居酒屋ブームにより急速にその消費量を伸ばしてきた。ファッション性としての飲酒が若い女性を中心として定着しつつある。日本酒は、酒造り文化の中心地である。最近の消費動向がかなり変化しつつある。灘、伏見の大手酒造家が生産量ならびに販売量を減少させているのに対し、地方の名もない地酒が消費量を増やしている。灘、伏見の大手酒造家が消費量の減少を補おうと、雑穀酒や、酒造者の口づけ、雑穀酒などによりその売り上げを伸ばしている。日本酒業界と日本経済を同一視するのは問題かもしれないが、今日、日本経済も消費量が低迷している。ただ、その中にある消費心の動きは、日本経済にあっては日本酒業界にあっては、重要な役割を果たしている。秋には、やはり日本酒が一番。理屈抜きで——若山牧水の歌ではないが——酒は一人静かに飲む。



# 地域研究のすすめ

## の国際理解のために



×キロの硬貨 左から20、10、5キロの硬貨

下の図のように、世界の諸国は、それぞれ異なる硬貨を流通させている。これは、それぞれの国の文化、歴史、経済の異なることを示している。地域研究を通じて、これらの異なる文化や歴史を理解し、国際理解を深めることが重要である。

### 見聞・洋行

— 木田 和雄

今年八月十日、東京から大阪まで、新幹線に乗って大阪まで来た。大阪に着くと、まず目に入るのは、大阪の街並みである。大阪の街並みは、東京とは異なる。大阪の街並みは、より開放的で、より活気がある。大阪の街並みは、大阪の文化や歴史を反映している。地域研究を通じて、大阪の文化や歴史を理解し、国際理解を深めることが重要である。

### 観光することと観光されること

— 木村 洋二

観光することと観光されること。観光客は観光地を訪れるが、観光地は観光客によって変えられる。観光客の行動は、観光地の文化や歴史に影響を与える。地域研究を通じて、観光客の行動と観光地の文化や歴史の関係を理解し、国際理解を深めることが重要である。

### パステルカラーの巡礼路

— 平田 渡

パステルカラーの巡礼路。パステルカラーは、フランスの文化や歴史を象徴している。パステルカラーの巡礼路は、フランスの文化や歴史を理解するための重要なルートである。地域研究を通じて、パステルカラーの巡礼路とフランスの文化や歴史の関係を理解し、国際理解を深めることが重要である。

### 都市の変貌

— 横田 茂

都市の変貌。都市は、時代とともに変貌を遂げる。都市の変貌は、都市の文化や歴史に影響を与える。地域研究を通じて、都市の変貌と都市の文化や歴史の関係を理解し、国際理解を深めることが重要である。

### 神々の生誕

— 植島 啓司

神々の生誕。神々は、人類の文化や歴史を象徴している。神々の生誕は、人類の文化や歴史を理解するための重要なポイントである。地域研究を通じて、神々の生誕と人類の文化や歴史の関係を理解し、国際理解を深めることが重要である。

### 運方の手紙

— 工藤 精一

運方の手紙。運方は、人類の文化や歴史を象徴している。運方の手紙は、人類の文化や歴史を理解するための重要なポイントである。地域研究を通じて、運方の手紙と人類の文化や歴史の関係を理解し、国際理解を深めることが重要である。

今日、先進工業社会に生きているわれわれは、知識階級として世界中の文化を知っているつもりである。しかし、その知識は、多くは表面的な知識に過ぎない。地域研究を通じて、その文化の深層を理解し、国際理解を深めることが重要である。

世界の文化は、それぞれ異なる。その文化の深層を理解し、国際理解を深めることが重要である。地域研究を通じて、世界の文化の深層を理解し、国際理解を深めることが重要である。

### 車・支村とキリヤ

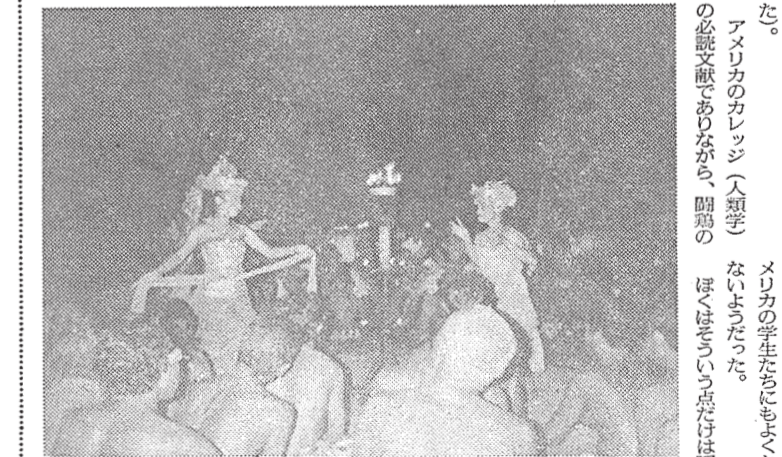
— 植島 啓司

車・支村とキリヤ。車は、人類の文化や歴史を象徴している。支村とキリヤは、人類の文化や歴史を理解するための重要なポイントである。地域研究を通じて、車・支村とキリヤと人類の文化や歴史の関係を理解し、国際理解を深めることが重要である。

### パスタの歴史

— 工藤 精一

パスタの歴史。パスタは、イタリアの文化や歴史を象徴している。パスタの歴史は、イタリアの文化や歴史を理解するための重要なポイントである。地域研究を通じて、パスタの歴史とイタリアの文化や歴史の関係を理解し、国際理解を深めることが重要である。



バリ島のレゴン・ダンス

バリ島のレゴン・ダンス。レゴン・ダンスは、バリ島の文化や歴史を象徴している。レゴン・ダンスの歴史は、バリ島の文化や歴史を理解するための重要なポイントである。地域研究を通じて、レゴン・ダンスとバリ島の文化や歴史の関係を理解し、国際理解を深めることが重要である。

下宿の生活は、学生にとって重要な経験である。下宿生活を通じて、学生は異なる文化や習慣に触れ、国際理解を深めることができる。地域研究を通じて、下宿生活と国際理解の関係を理解し、国際理解を深めることが重要である。

チャムラ村の子ども



### 観光することと観光されること

— 木村 洋二

観光することと観光されること。観光客は観光地を訪れるが、観光地は観光客によって変えられる。観光客の行動は、観光地の文化や歴史に影響を与える。地域研究を通じて、観光客の行動と観光地の文化や歴史の関係を理解し、国際理解を深めることが重要である。

### パスタの歴史

— 工藤 精一

パスタの歴史。パスタは、イタリアの文化や歴史を象徴している。パスタの歴史は、イタリアの文化や歴史を理解するための重要なポイントである。地域研究を通じて、パスタの歴史とイタリアの文化や歴史の関係を理解し、国際理解を深めることが重要である。

都市のなかの第三世界

# 在外研究の振り返り

自然学、社会学、人文学、経済学、法学、工学、理学、医学、農学、歯学、獣医学、芸術学、体育学、教育、保育、看護、保健、福祉、情報、環境、エネルギー、宇宙、海洋、地球、生命科学、地球惑星科学、工学系研究科、理学系研究科、経済学系研究科、法学系研究科、文学系研究科、国際学系研究科、看護学系研究科、健康科学系研究科、スポーツ科学系研究科、芸術系研究科、工学系研究科、理学系研究科、経済学系研究科、法学系研究科、文学系研究科、国際学系研究科、看護学系研究科、健康科学系研究科、スポーツ科学系研究科、芸術系研究科

「振り返り」は、在外研究の経験から得た学びや気づきを整理し、今後の研究や教育に活かすための重要な作業です。この機会に、海外での経験や発見を振り返り、学びを共有し、今後の研究や教育に活かしていきましょう。

## あなた自身を解き放つために

### 人権解放としての部落解放

小原 仁

「人権解放」とは、個人や集団が社会的な制約から解放され、自由と尊厳を享受できるようにすることを意味する。部落解放は、歴史的に差別を受けた部落民の人権を回復し、社会参加を促すための重要な取り組みである。

## カリフォルニアでの在外研究生活

北嶋 弘一

カリフォルニア州の大学で研究生活を送った経験について振り返る。学問だけでなく、異文化理解や人権問題への関心を深めた貴重な機会であった。

## 人権問題研究室の開設に当たって

松岡 保

本研究室の設立の意義と目的について述べる。人権問題の学際的な研究を通じて、社会正義の実現に貢献することを目指す。

## 指紋問題で問われているもの

杉原 達

指紋問題がもたらしている社会的課題と、それを解決するための取り組みについて論ずる。

## 人びとへの出会い

剛 剛

海外での研究や交流を通じて出会った人びととの出会いについて振り返る。異文化理解や人権意識の醸成に重要な役割を果たした。

## 人権問題研究室の開設に当たって

松岡 保

本研究室の設立の意義と目的について述べる。人権問題の学際的な研究を通じて、社会正義の実現に貢献することを目指す。

## 指紋問題で問われているもの

杉原 達

指紋問題がもたらしている社会的課題と、それを解決するための取り組みについて論ずる。

## 人びとへの出会い

剛 剛

海外での研究や交流を通じて出会った人びととの出会いについて振り返る。異文化理解や人権意識の醸成に重要な役割を果たした。

## 人権問題研究室の開設に当たって

松岡 保

本研究室の設立の意義と目的について述べる。人権問題の学際的な研究を通じて、社会正義の実現に貢献することを目指す。

## 指紋問題で問われているもの

杉原 達

指紋問題がもたらしている社会的課題と、それを解決するための取り組みについて論ずる。

## 人びとへの出会い

剛 剛

海外での研究や交流を通じて出会った人びととの出会いについて振り返る。異文化理解や人権意識の醸成に重要な役割を果たした。

## 人権問題研究室の開設に当たって

松岡 保

本研究室の設立の意義と目的について述べる。人権問題の学際的な研究を通じて、社会正義の実現に貢献することを目指す。

## 指紋問題で問われているもの

杉原 達

指紋問題がもたらしている社会的課題と、それを解決するための取り組みについて論ずる。

## 人びとへの出会い

剛 剛

海外での研究や交流を通じて出会った人びととの出会いについて振り返る。異文化理解や人権意識の醸成に重要な役割を果たした。

## 人権問題研究室の開設に当たって

松岡 保

本研究室の設立の意義と目的について述べる。人権問題の学際的な研究を通じて、社会正義の実現に貢献することを目指す。

## 指紋問題で問われているもの

杉原 達

指紋問題がもたらしている社会的課題と、それを解決するための取り組みについて論ずる。

## 人びとへの出会い

剛 剛

海外での研究や交流を通じて出会った人びととの出会いについて振り返る。異文化理解や人権意識の醸成に重要な役割を果たした。

## 人権問題研究室の開設に当たって

松岡 保

本研究室の設立の意義と目的について述べる。人権問題の学際的な研究を通じて、社会正義の実現に貢献することを目指す。

## 指紋問題で問われているもの

杉原 達

指紋問題がもたらしている社会的課題と、それを解決するための取り組みについて論ずる。

## 人びとへの出会い

剛 剛

海外での研究や交流を通じて出会った人びととの出会いについて振り返る。異文化理解や人権意識の醸成に重要な役割を果たした。

## 人権問題研究室の開設に当たって

松岡 保

本研究室の設立の意義と目的について述べる。人権問題の学際的な研究を通じて、社会正義の実現に貢献することを目指す。

## 指紋問題で問われているもの

杉原 達

指紋問題がもたらしている社会的課題と、それを解決するための取り組みについて論ずる。

## 人びとへの出会い

剛 剛

海外での研究や交流を通じて出会った人びととの出会いについて振り返る。異文化理解や人権意識の醸成に重要な役割を果たした。

## 指紋問題で問われているもの

杉原 達

指紋問題がもたらしている社会的課題と、それを解決するための取り組みについて論ずる。

## 人びとへの出会い

剛 剛

海外での研究や交流を通じて出会った人びととの出会いについて振り返る。異文化理解や人権意識の醸成に重要な役割を果たした。

## 人権問題研究室の開設に当たって

松岡 保

本研究室の設立の意義と目的について述べる。人権問題の学際的な研究を通じて、社会正義の実現に貢献することを目指す。

## 指紋問題で問われているもの

杉原 達

指紋問題がもたらしている社会的課題と、それを解決するための取り組みについて論ずる。

## 人びとへの出会い

剛 剛

海外での研究や交流を通じて出会った人びととの出会いについて振り返る。異文化理解や人権意識の醸成に重要な役割を果たした。

## 人権問題研究室の開設に当たって

松岡 保

本研究室の設立の意義と目的について述べる。人権問題の学際的な研究を通じて、社会正義の実現に貢献することを目指す。

## 指紋問題で問われているもの

杉原 達

指紋問題がもたらしている社会的課題と、それを解決するための取り組みについて論ずる。

## 人びとへの出会い

剛 剛

海外での研究や交流を通じて出会った人びととの出会いについて振り返る。異文化理解や人権意識の醸成に重要な役割を果たした。

## 人権問題研究室の開設に当たって

松岡 保

本研究室の設立の意義と目的について述べる。人権問題の学際的な研究を通じて、社会正義の実現に貢献することを目指す。

## 指紋問題で問われているもの

杉原 達

指紋問題がもたらしている社会的課題と、それを解決するための取り組みについて論ずる。

## 人びとへの出会い

剛 剛

海外での研究や交流を通じて出会った人びととの出会いについて振り返る。異文化理解や人権意識の醸成に重要な役割を果たした。

## 人権問題研究室の開設に当たって

松岡 保

本研究室の設立の意義と目的について述べる。人権問題の学際的な研究を通じて、社会正義の実現に貢献することを目指す。

## 指紋問題で問われているもの

杉原 達

指紋問題がもたらしている社会的課題と、それを解決するための取り組みについて論ずる。

## 人びとへの出会い

剛 剛

海外での研究や交流を通じて出会った人びととの出会いについて振り返る。異文化理解や人権意識の醸成に重要な役割を果たした。

## 人権問題研究室の開設に当たって

松岡 保

本研究室の設立の意義と目的について述べる。人権問題の学際的な研究を通じて、社会正義の実現に貢献することを目指す。

## 指紋問題で問われているもの

杉原 達

指紋問題がもたらしている社会的課題と、それを解決するための取り組みについて論ずる。

## 人びとへの出会い

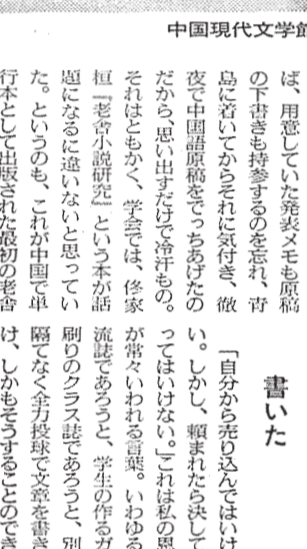
剛 剛

海外での研究や交流を通じて出会った人びととの出会いについて振り返る。異文化理解や人権意識の醸成に重要な役割を果たした。

## 人権問題研究室の開設に当たって

松岡 保

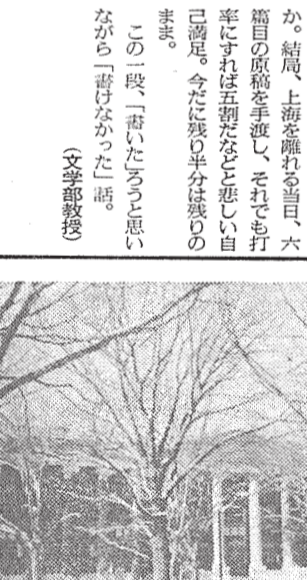
本研究室の設立の意義と目的について述べる。人権問題の学際的な研究を通じて、社会正義の実現に貢献することを目指す。



中国現代文学館の前にて



お別れパーティーでハッピーアンプ教授夫妻(左端)とスタッフ



雪のLangdell Hall (図書館)

Harvard Law School

Hans M. Michelsen

Prof. Frank E. A. Sander

Harvard Law School

Hans M. Michelsen

Prof. Frank E. A. Sander

Harvard Law School

Hans M. Michelsen

Prof. Frank E. A. Sander

